



文化博物館だより 第465号

2015年9月25日

今回の博物館だよりは、現在開催中の秋季特別展「橋本海関・関雪展-父子の歩み-」関連イベントの「レクチャーコンサート」の様子についてと、作品紹介をします。

レクチャーコンサート



9月20日(日)午後2時より秋季特別展関連イベントとしてレクチャーコンサート「悠久の地へ-時のまちから」が、まゆり(うた)feat.今岡鉄也(ユーフォニアム)と沖永紗織(ピアノ)により行われました。

関雪が何度も訪れた中国に関連する音楽を、映画や宝塚歌劇等多彩なジャンルからピックアップし披露。

関雪の絵画を見ながら、心安らぐ音楽を鑑賞し、普段とはまた違った楽しみ方が出来たのではないのでしょうか。

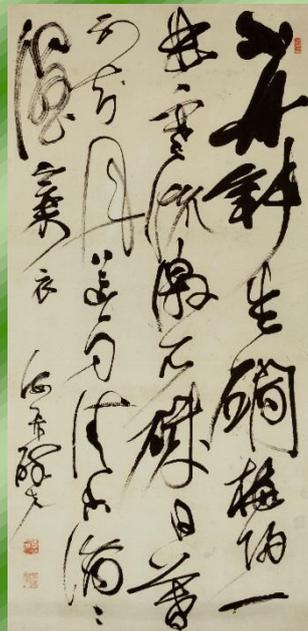


秋季特別展 ～作品紹介②～

小舟が溪谷を下る情景を詠んでおり、梅の木が岸边に突き出るときの生えている様子や、川の流れる岩場に激しくぶつかる様子など、臨場感があふれています。また、梅の香を含んだ小雨が自分の蓑を濡らす、と嗅覚も意識した詩です。

橋本海関は儒学者であり、詩人でも書家でもありませんが、詩の内容に合わせたかのような荒々しく力強い筆運びからは、芸術性が感じられます。

この他にも、様々な作品を展示していますので、是非展示会と合わせて、学芸員による作品解説にも足をお運び下さい。



秋季特別展・作品紹介では、出品作品の中から1点を取り上げて解説。

2回目の今回は、こちらの作品をご紹介します。

< 橋本海関「七言絶句」当館蔵(松田房徳氏寄贈)>

小舟斜生礮梅帰一
曲寒流激石磯日暮
不知風送雨清香滴々
湿蓑衣 海関醉夫

【書き下し】

小舟は斜生の礮梅に帰し、
一曲の寒流は石磯に激す。
日暮れて知らず、風雨を送るを、
清香滴々 蓑衣を湿らす。

☆学芸員による作品解説 今後の開催日程☆

※当日自由参加 (要当日観覧券)

9月30日(水)、10月4日(日)、11日(日)、14日(水)、18日(日)

午前11時～、午後3時～ (約30分)

◎現在開催中◎～10月25日(日)まで※会期中無休

秋季特別展「橋本海関・関雪展」

<http://www.akashibunpaku.com/exhibition/?id=106>

詳しい展示会情報は
当館HPをご覧ください。

<http://www.akashibunpaku.com>
次回の「博物館だより」をお楽しみに。